

名和友歩会 知事表彰

ウォーキングで広げる健康づくりの輪

地域で積極的に健康づくりに取り組んでいるとして、名和友歩会（会長 生田清^{きよよし}さん）が知事表彰を受けられました。表彰式は、11月4日、県民文化会館で開かれた「働き盛りの健康づくりチャレンジフェア」の中で行われ、健康づくり活動グループとして最優秀賞にD.Oスポーツさん（日野町）、優秀賞に名和友歩会ほか3団体、奨励賞に1団体、チャレンジ賞に10団体が選ばれました。

地域は、平成9年に結成。当初2人だった会員は現在54人で、平均年齢は60歳。月1回・第3日曜日を定例会とし、

地域のさまざまなところに出かけ、10〜15キロを歩いておられます。11月には米子水鳥公園周辺を、12月には名和市内の太平記潮風コースを歩く予定とのことです。

鳥取県ウォーキング協会副会長でもある会長の生田さん（59歳）は、「会員みんなが喜んでいます。これを励みにこれからもがんばります。参加は一般の方でも初心者でもOKで年齢は問いません。一緒に歩きましょう！」と話しておられます。

ただ歩くだけでなく、見て知って自然に親しみながら歩くという皆さんは、全国各地で行われているウォーキング大会にも積極的に参加し、

他の会の人たちとも情報交換や親睦を深め、ウォーキングの輪を広げておられます。



表彰状を手にする生田清会長

シルバー人材センター 清掃作業に汗



大山町シルバー人材センター（理事長 林原彦一さん 会員174人）は、10月23日（火）、保健福祉センターなわの清掃奉仕作業を行いました。毎年1回、普及啓発促進月間の一環として、町の公共施設の清掃奉仕作業を続けておられます。

この日、作業には会員42人が参加し、センター周辺の植え込みのツツジや植木の刈り込み、剪定、広場の草取りに汗を流しました。

周辺がすっきりと整えられた後、会員同士のふれあいを深めるためバーベキューも行われました。会員の方は「各地区からたくさん集まっても面白い驚いています。今後も交流を深めながら活動を活発にしていきたいです」と話されました。

現在会員を募集中です。
（連絡先 ☎0859-5314787）

「大山賛歌」の歌詞を紹介します

大山を愛する人々に歌い継がれ、大山の歌として親しまれている「大山賛歌」。いまや町内のイベントや式典には欠かせない歌となっており、先ごろに開

催された和牛博の開会式にも使われました。8月から町内のケーブルテレビ放送も始まり、耳にする機会も増えました。

「大山賛歌」をもっと知っていただくため、その歌詞をご紹介します。



あなたももしも 一人になつて 静かにこころを 見つめてみたい

その時は大山に行こう

キャラボクの緑葉が

あなたの寂しさを包んでくれる

そう 大山は緑がいっぱいだから

あなたももしも 愛する人と

明日の光を 夢みてみたい

その時は大山に行こう

北壁の厳しさが

二人に人生を教えてくれる

そう 大山は光がいっぱいだから

あなたももしも 自然の中で

親しい仲間と 話してみたい

その時は大山に行こう

白銀の頂で

小鳥が憧れを歌ってくれる

そう 大山は小鳥がいっぱいだから

大山賛歌のCDを販売しています。
1枚千円（税込み）
■販売場所
本庁（住民生活課）、中山支所（ふるさと振興課）、大山支所（観光商工課）